

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成28年11月28日（月）～平成28年12月4日（日）〔平成28年第48週〕の感染症発生状況

第48週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) 流行性角結膜炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は24.42人と前週（20.31人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は3.80人と前週（1.60人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は3.11人と前週（1.78人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



例年より早い立ち上がり～インフルエンザと感染性胃腸炎～

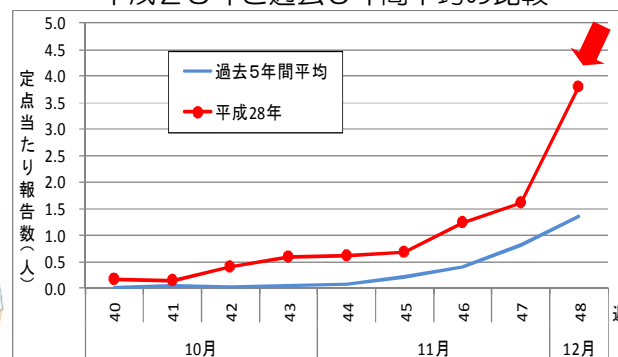
インフルエンザ

10月中旬から患者報告数が増加し、例年より早い時期の第46週（平成28年11月14日～11月20日）に流行シーズンに入りました。

今シーズン、健康安全研究所に搬入されたインフルエンザの検体からは、△香港型が多く検出されています。また、患者報告数の増加とともに、インフルエンザによる入院患者報告数も多くなっています。



川崎市におけるインフルエンザ発生状況 - 平成28年と過去5年間平均の比較 -



感染性胃腸炎

第48週（平成28年11月28日～12月4日）の定点当たり報告数が24.42人となり、前週から大幅に増加しています。

引き続き流行発生警報基準値（定点当たり20.00人）を超えていますので、予防対策（手洗いなど）の徹底に努めましょう。

川崎市における感染性胃腸炎発生状況 - 平成28年と過去5年間平均の比較 -

